

山形県鉱工業指数 [平成27年基準]

令和3年4月 速報

令和3年4月の山形県鉱工業生産指数

[季節調整済指数] 102.4 . . . 前月に比べ1.9%上昇
3ヶ月ぶりの上昇

[前月から上昇した業種]
窯業・土石製品工業、化学工業など11業種

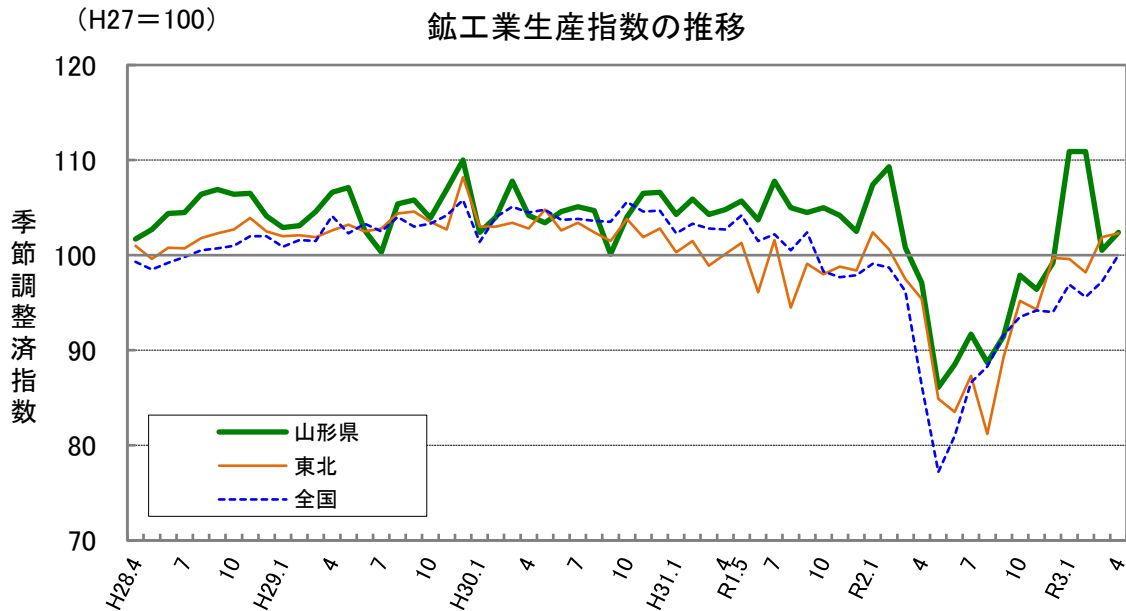
[前月から低下した業種]
電気機械工業、繊維工業など11業種

[原指数] 101.1 . . . 前年同月に比べ5.4%上昇
3ヶ月連続の上昇

鉱工業生産指数 [山形県、東北、全国] (H27=100)

	季節調整済指数			原指数		
	3年3月	3年4月	前月比	2年4月	3年4月	前年同月比
山形	100.5	102.4	1.9%	95.9	101.1	5.4%
東北	101.9	102.3	0.4%	91.3	97.9	7.2%
全国	97.2	100.0	2.9%	85.3	98.8	15.8%

※ 東北の指数は東北経済産業局が公表した速報値、全国の指数は経済産業省が公表した確報値を掲載



利用上の注意

この速報の数値は、当月分は速報値、前月以前分は確報値を同時に掲載しています。

《 利用上の注意 》

1 基準時

平成27年を基準時としています。

指数値は平成27年の月平均生産（在庫）量を100.0とする比率で示されます。

2 分類

日本標準産業分類を基本とした「業種分類」と、財の用途に着目した「財分類」の2分類を採用しています。

3 採用品目

生産指数では162品目、在庫指数では64品目採用しています。

4 ウェイト

生産指数は付加価値額ウェイト、在庫指数は在庫額ウェイトを採用しています。

ウェイトの算定は、それぞれ基準年の経済センサス-活動調査及び生産動態統計調査等のデータより算出しており、鉱工業全体を10000.0とするように各品目のウェイトが構成されています。

5 総合指数の算式

基準時固定算式加重平均法で算定しています。

6 季節調整

季節調整とは、1年を周期とする定期的変動要素（気候変化などの自然要因、盆・正月などの慣習や企業の決算期などの商慣行の社会的要因）を取り除いて調整することをいい、この季節調整を行った指数を季節調整済指数とといいます。

なお、季節調整は、生産指数についてはセンサス局法X-12-ARIMAを、また、在庫指数についてはセンサス局法X-12-ARIMAのなかのX-11デフォルトを採用しています。

7 公表数値

当月分を速報値として掲載しており、前月以前分を修正して公表する場合があります。

8 「前月(期)比」及び「前年同月(期)比」の算式

$$\text{前月(期)比(\%)} = \frac{\text{当月(期)の季節調整済指数} - \text{前月(期)の季節調整済指数}}{\text{前月(期)の季節調整済指数}} \times 100$$

$$\text{前年同月(期)比(\%)} = \frac{\text{当月(期)の原指数} - \text{前年同月(期)の原指数}}{\text{前年同月(期)の原指数}} \times 100$$

9 寄与度

鉱工業指数全体の前月比に対して、各業種の増減分がどの程度影響を与えたかを示したものです。

$$\text{寄与度(\%)} = \frac{\text{当月の業種別 季節調整済指数} - \text{前月の業種別 季節調整済指数}}{\text{前月の鉱工業(全体) 季節調整済指数}} \times \frac{\text{業種別 ウェイト}}{\text{全体ウェイト}} \times 100$$

10 資料

山形県鉱工業指数は、経済産業省生産動態統計調査、厚生労働省業事工業生産動態統計調査、山形県鉱工業生産動態統計調査、各官公庁及び団体等の資料を利用し、独自に集計を行い作成しています。

11 その他

鉱工業指数は、経済産業省や各経済産業局・各都府県において作成・公表しておりますが、各地域の鉱工業の動向を的確に表現できるように採用品目やウェイト等をそれぞれ独自に定めているので、各地の特徴的な業種の動向によって指数に差が生じるほか、一品目の生産動向が各地域の指数に及ぼす影響度はそれぞれ異なりますので、利用にあたりご注意ください。

1. 令和3年4月の概況

(1) 山形県

山形県の生産指数(季節調整済)は102.4で、前月に比べ1.9%上昇し、3ヶ月ぶりの上昇となった。

業種別にみると、窯業・土石製品工業、化学工業など11業種が上昇し、電気機械工業、繊維工業など11業種で低下した。

在庫指数(季節調整済)は141.9で、前月に比べ1.9%上昇し、4ヶ月連続の上昇となった。

・鉱工業 生産指数、在庫指数(季節調整済) (H27=100)

	令和2年								令和3年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
生産	86.1	88.5	91.7	88.7	91.5	97.9	96.4	99.2	110.9	110.9	100.5	102.4
前月比(%)	△ 11.3	2.8	3.6	△ 3.3	3.2	7.0	△ 1.5	2.9	11.8	0.0	△ 9.4	1.9
在庫	118.0	123.9	120.4	121.0	122.9	126.4	139.3	128.8	134.1	134.5	139.2	141.9
前月比(%)	△ 1.4	5.0	△ 2.8	0.5	1.6	2.8	10.2	△ 7.5	4.1	0.3	3.5	1.9

・今月の生産指数(季節調整済)における寄与度の高い業種

業 種 分 類		生産指数 (季調済)		前 月 比 (%)	寄 与 度 (%)
		前 月	今 月		
上 昇	窯業・土石製品工業	88.8	110.2	24.1	1.00
	化学工業	110.5	123.1	11.4	0.99
低 下	電気機械工業	112.6	97.7	△ 13.2	△ 0.83
	繊維工業	81.0	55.1	△ 32.0	△ 0.82

※「寄与度」とは、総合の伸びの増減分に対して、その業種の増減分がどの程度寄与したかを示したものです。

(2) 東北

東北の生産指数(季節調整済)は102.3で、前月に比べ0.4%上昇した。

業種別にみると、窯業・土石製品工業、化学・石油製品工業などが上昇し、情報通信機械工業、生産用機械工業などが低下した。

在庫指数(季節調整済)は108.5で、前月に比べ3.1%上昇した。

(3) 全国

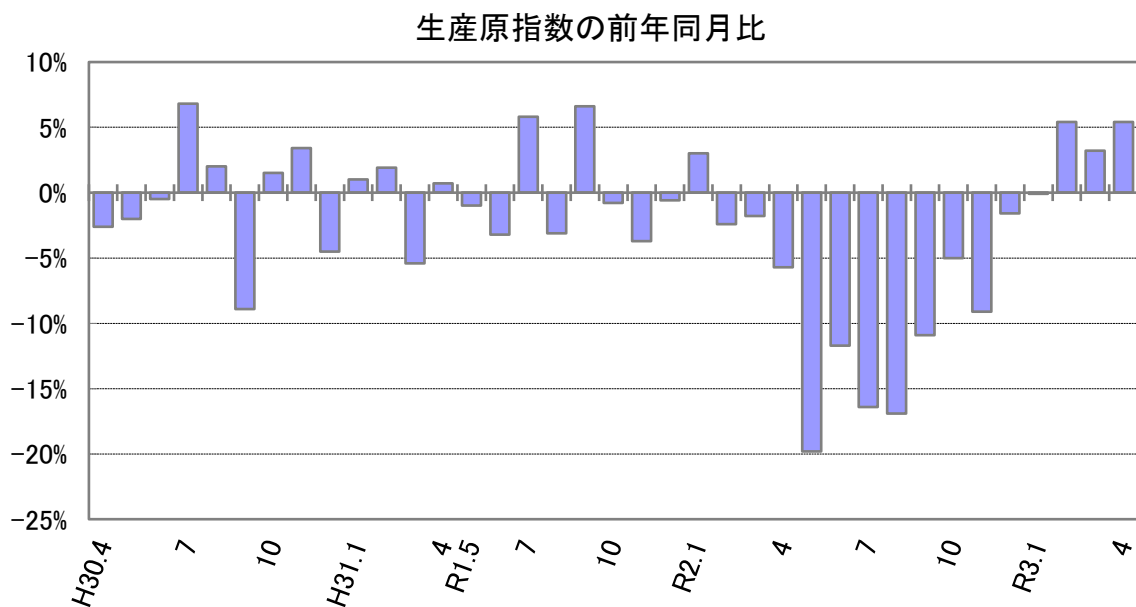
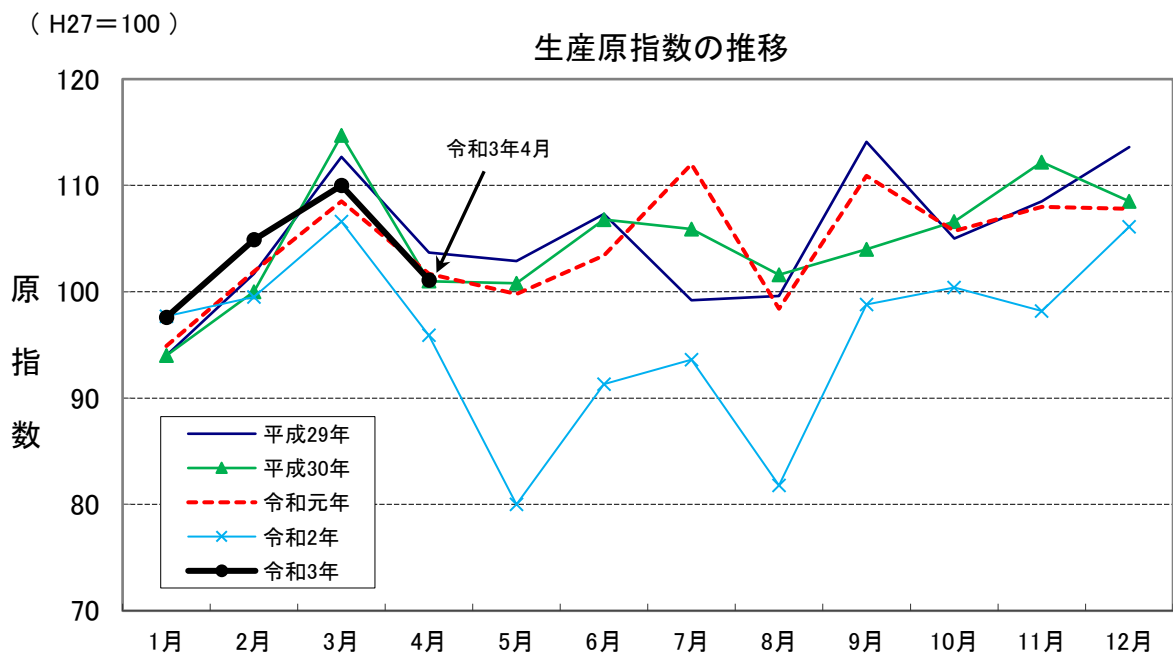
全国生産指数(季節調整済)は100.0で、前月に比べ2.9%上昇した。

業種別にみると、汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業などが上昇し、自動車工業、輸送機械工業(除. 自動車工業)などが低下した。

在庫指数(季節調整済)は94.7で、前月に比べ0.1%低下した。

<参考> 県鉱工業生産指数(原指数)の推移

	29年4月		30年4月		31年4月		2年4月		3年4月	
	原指数	前年同月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
原指数	103.7	4.9	101.0	△ 2.6	101.7	0.7	95.9	△ 5.7	101.1	5.4



2. 主要業種の生産動向

業 種 (ウェイト)	生 産 指 数			主要品目群 ()はウェイト	対前月比 (季調済)	対前年同月比 (原指数)
	季調済	前月比	前年同月比			
電子部品・デバイス工業 (1754.2)	季調済	121.9	前月比 △ 3.2%	集積回路(756.6) 電子部品(578.0) 半導体素子(236.6)	0.2% △ 6.2% △ 0.6%	△ 0.8% 10.4% 9.7%
	原	120.1	前年同月比 7.1%			
汎用・生産用・業務用機械工業 (1424.7)	季調済	92.0	前月比 7.9%	産業用機械(557.3) 電子部品製造装置(130.6)	△ 3.4% 4.5%	23.7% 76.8%
	原	84.5	前年同月比 22.6%			
食料品工業 (1382.2)	季調済	94.0	前月比 4.6%	調理食品(457.8) 菓子類(261.1) 肉製品(222.7)	6.8% 1.2% 0.7%	6.3% 3.1% △ 6.4%
	原	100.4	前年同月比 △ 2.0%			
情報通信機械工業 (797.9)	季調済	95.2	前月比 12.8%	電子計算機・同附属装置(573.8) 通信機械器具(161.8)	17.0% △ 8.7%	△ 24.9% 12.6%
	原	73.2	前年同月比 △ 16.6%			
輸送機械工業 (789.6)	季調済	122.8	前月比 5.0%	自動車部品(668.7)	6.6%	42.3%
	原	120.7	前年同月比 45.8%			
化学工業 (787.7)	季調済	123.1	前月比 11.4%	医薬品・医薬部外品(638.5)	7.5%	18.4%
	原	132.4	前年同月比 15.6%			
電気機械工業 (562.3)	季調済	97.7	前月比 △ 13.2%	開閉制御装置(197.7)	△ 16.3%	△ 12.1%
	原	98.7	前年同月比 △ 3.5%			

※ この表の主要品目群とは、複数の個別品目を総合したものを一つの指数単位として計算したものです。

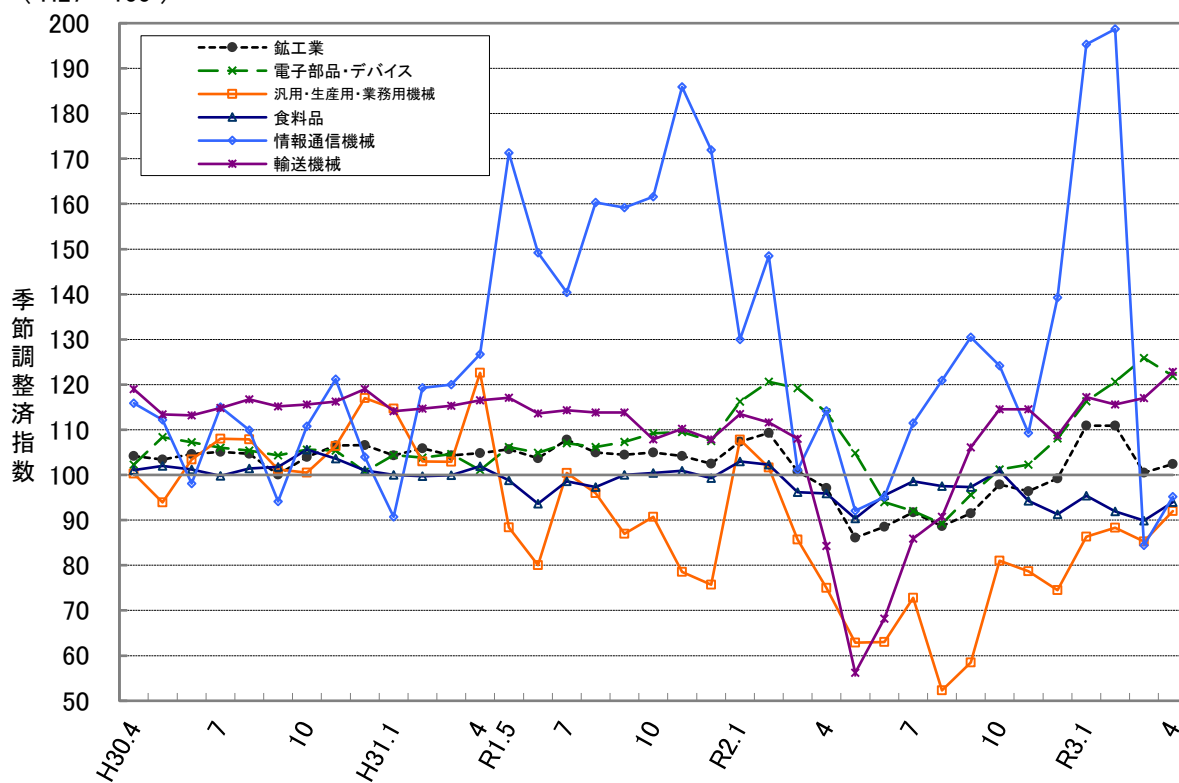
なお、季節調整は、業種、主要品目群においてそれぞれ行っています。

加えて、主要品目群について業種内すべての品目を計上していないこともあり、業種と主要品目群で上昇や低下の傾向が異なる場合があります。

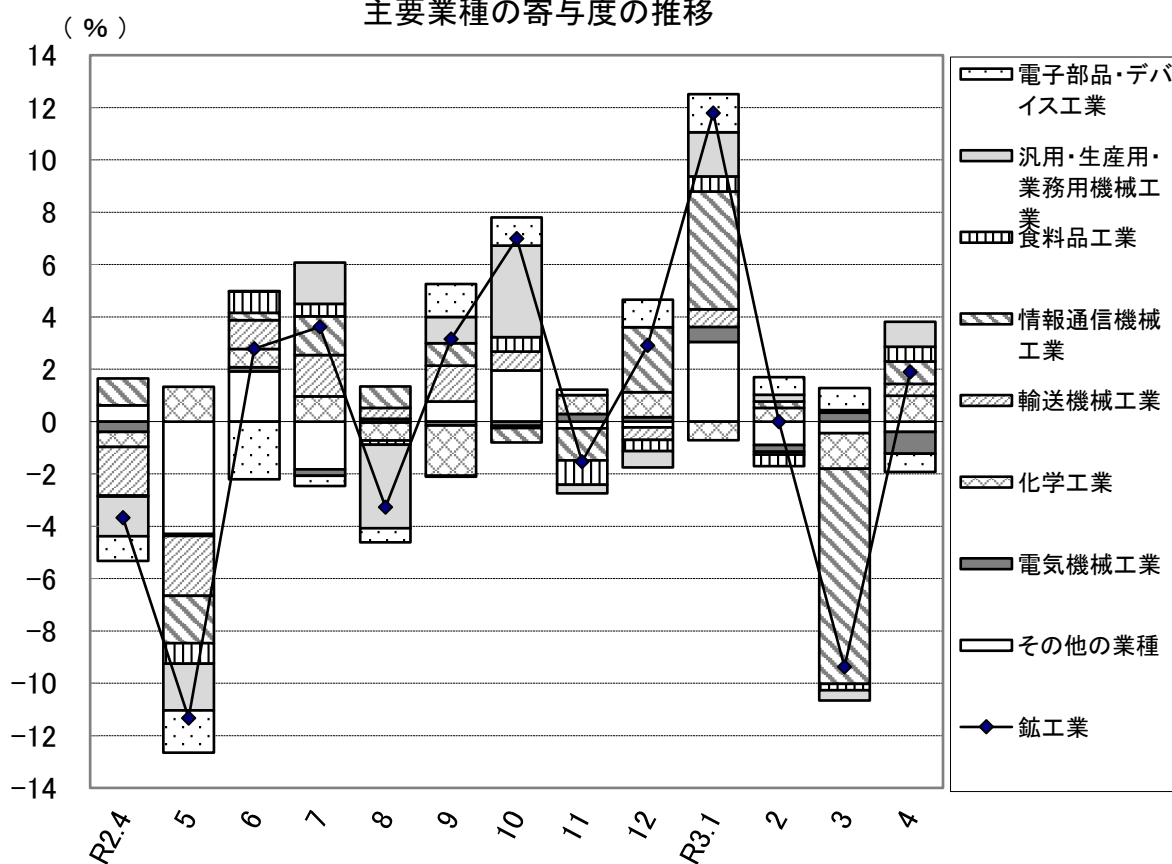
《参考》上記7業種以外で上昇や低下に大きく寄与した業種

業 種 (ウェイト)	生 産 指 数		
	季調済	前月比	前年同月比
窯業・土石製品工業 (468.8)	季調済	110.2	前月比 24.1%
	原	102.8	前年同月比 △ 1.7%
繊維工業 (318.6)	季調済	55.1	前月比 △ 32.0%
	原	57.8	前年同月比 △ 11.1%

(H27=100) 主要業種の生産動向 (季節調整済指数)



主要業種の寄与度の推移



※「寄与度」とは、鉱工業指数全体の前月比に対して、各業種の増減分がどの程度影響を与えたかを示したものです。

☆ 山形県のホームページからもご覧になれます。

HPアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>

・トップページ → 目的から探す → 統計情報・オープンデータ
→ 商工・観光 → 鉱工業指数

または

・トップページ → 組織から探す → みらい企画創造部
→ 統計企画課 → 統計データ(分野別) → 鉱工業

山形県鉱工業指数 令和3年4月 速報

<問い合わせ先>

山形県みらい企画創造部統計企画課 経済統計担当

住所 〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

電話 023(630)2809 または 2184

FAX 023(630)2185